



# 学校だより

令和2年度 第1号  
発行日 4月6日  
練馬区立大泉第二中学校  
校長 関 基 雄

## 日本の力が試されている

校長 関 基 雄

新学期が始まりました。今年度もよろしくお願いたします。大泉第二中学校は今年度各学年5クラスに復活し、先生も3名増え、その他にも経営支援、スクールサポートスタッフが加わり、これまで以上に充実した体制で新学期を迎えることが出来ました。それぞれのご家庭においてもようやく新学期を迎えられると思っていたところで更に臨時休校が延びてしまい気持ちがそがれていることと思います。

とはいえ、ここ1、2週間の刻々と増え続ける東京での感染拡大の様子を見ていると仕方のないことといえるでしょう。ニュースなどを見ていると世界中の都市が次々と封鎖され人通りのない閑散とした都市の風景が映し出されています。少し前には力づくで街や村を封鎖している映像も見られました。ある地域で発生した疫病が瞬く間に全世界に広がってしまうというグローバル社会の難しさを痛感するところです。日本はこれからどうなるのか心配なところです。しかし、このコロナウィルスの感染拡大の様子を思い返してみると1月に中国の武漢で発生し、日本でも1月下旬にバスの運転手が初感染したことが報道され、日本も早い段階からコロナウィルスの感染が始まっていました。2月にはクルーズ船での感染がとまらないことや検査のやり方などで日本の対応が疑問視されることもあります。死者の数や重篤な患者数の増加はほかの国々に比べ緩やかであると思われれます。日本では自粛要請ということで強制的ではないがそれでもここまでもちこたえていることができているのは特筆すべきことではないでしょうか。4月最初の休日、仕事のために出かけることになりましたが、休日でも混雑する池袋の駅なども人通りがとても少なく、自粛の意識が浸透していることがわかりました。

最近では、日本の文化は世界でも注目されていて和食や様々な伝統文化が注目を集めており、テレビなどでもいろいろな番組で紹介されています。このような有形の文化だけではなく、強制的な力だけでなく一人一人の力、あるいは集団の力でそれぞれどうしてよいかを判断し、自制することでコロナウィルスの感染拡大を防ぐことが出来たとしたらこれは本当に世界に誇れることではないでしょうか。そこには差別や偏見を持たないことも含まれます。差別や偏見があると情報発信もされなくなり、感染防止の阻害ともなっています。こうしたことができることで日本の文化が本物であることを示すことになると思われれます。今まさに私たち日本の力が試されています。何とか不自由なことはありますがもう少し我慢をしてこのコロナウィルスに打ち勝っていきましょう。